

事務事業評価資料

施策名	商店街活性化・まち再生の推進		所管部局課名	産業労働部産業振興局経営商業課							
事業名	商店街共同施設撤去支援事業		担当者電話番号	商業施設係 078-362-4165							
事業目的	商店街等の老朽化した共同施設の撤去を支援することにより、空洞化した商店街を開放的かつ安全な空間に変え、空き店舗等の住宅転換を促進するとともにまち全体の魅力の創出を図る。										
事業内容	(1)補助対象者 商店街振興組合等 (2)補助対象経費 老朽化したアーケード等の共同施設の撤去に要する経費 (3)補助率 1/3(市町1/3) (4)補助限度額 5,000千円			事業開始年度	平成22年度						
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額					
	事業費	(0千円) 0千円		(0千円) 0千円		(5,000千円) 5,000千円					
	人件費	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	820千円 従事人員 0.1人					
	総コスト(+)	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	5,820千円 従事人員 0.1人					
事業の目標	補助件数	[目標設定理由] ・商店街の開放的かつ安全な空間の確保と空き店舗等の住宅転換の促進を図る新たな取り組みであるため、補助件数を目標とする。									
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)				
		目標値	年度				H20	H21	H22		
	補助件数	4	25年度	-	-	1 (5,820千円)	-	-	25%		
評価結果	必要性	・商店が減少し、空洞化が進む商店街等においては老朽化したアーケード等の維持管理が困難となり、十分な修繕等が行えないなどの課題を抱えている。 ・老朽化した共同施設の撤去が進まないまま放置すれば、商店街を含むまち全体の魅力喪失のほか、共同施設の倒壊等の危険も生じる。 ・このため、老朽化した共同施設を撤去することにより、空洞化した商店街を開放的かつ安全な空間に変え、空き店舗等の住宅転換を促進する必要がある。									
	有効性	・空洞化した商店街を開放的かつ安全な空間に変えることにより、空き店舗等の住宅転換への促進が見込まれ、街の再生にも繋がる。									
	効率性	・補助対象経費の相見積もりを補助要件として挙げ、当事業の効率性の確保及び総事業費の圧縮を図る。									
	民間・市町との役割分担	・まちづくりの観点から実施する事業であるため、市町負担1/3を求める。									
	受益と負担の適正化	・事業を実施する商店街等へは事業費の1/3の負担を求める。									
実施方針	方向性	新規		拡充		継続		実施手法の見直し			
		廃止		縮小		統合		凍結(休止)		延長	終期設定
	実施手法の見直し内容	市町移譲		民間移譲		民間委託		PFI		負担割合変更	事務改善
説明	商店街等の老朽化した共同施設の撤去を支援することにより、空洞化した商店街を開放的かつ安全な空間に変え、空き店舗等の住宅転換を促進するとともに、まち全体の魅力の創出を図るため、新規に実施する。										